

本原小学校のグランドデザイン

令和6年度

<めざす子どもの姿>

- ☆地域を愛し、自分が好きで、人にやさしく思いやりのある子ども
- ☆粘り強く考えられる学習意欲の高い子ども
- ☆堂々と挨拶や考えを伝えたり、自分に自信を持って取り組んだりできる前向きな子ども

《学校教育目標》

- ◎なかよく
- ◎たくましく
- ◎かんがえて

《地域・保護者の願う子ども像》

- ◎地域を愛する子ども ◎心やさしい子ども
- ◎自分も相手もみんなも大事にする子ども
- ◎意欲的に学ぶ子ども
- ◎健康・安全に気をつける子ども
- ◎学校にいきいきと通う子ども

本年度の重点目標

- 1 つながる あいさつ 2 じぶんから うごく 3 じっくりかんがえ つたえる

◎なかよく

- 明るい挨拶・返事の定着
- 人と「人・こと・もの」がつながる活動
- 個性を發揮し認め合う学級づくり
- 安心できる人間関係づくり
- 人権同和教育の推進
- やさしく話し、あたたかく聴く
- 歌声の響き合う学級・学年
- 子どもと向き合う時間の確保
「のびのびタイム」
- 交流活動の充実(児童会・異学年等)
- 地域(ふるさと)学習の実施
- 「原っ子応援団」との連携

◎たくましく

- 何事も自分から進んで取り組む姿勢
- ねばり強く取り組む意欲の育成
- 係活動、児童会活動など周りのために役に立つ活動の継続
- 心を磨く清掃「もくもく清掃」「見つけ清掃」「感謝清掃」
- 運動集会・持久走での体づくりの推進
- 体力テストの実施と結果分析
- 外遊びの奨励・環境づくり
- 食育の推進、健康保持と増進
- 安心・安全の意識育成と徹底
(防災・防犯・交通安全)

◎かんがえて

- 「じっくり考える」「心を傾けて聴く」「考えを伝える」ことの日常化
- わかる授業から基礎学力向上へつなげる
- 学ぶ楽しさ・学習意欲を喚起する授業づくり
- 主体的・対話的で深い学びの授業展開
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 本原小授業スタンダードの取組
- 繰り返しの学習による基礎基本の定着
- すべての子どもの学びの充実授業と習熟度の配慮
- 一人一台端末(タブレット)の利活用
- 家庭学習の充実と習慣化
- MIM、図書館教育、小規模校の学びの充実

<全校研究テーマ> 「考える力・伝える力を伸ばし、学びの喜びを実感できる子ども」
～基礎学力を身につけ、対話的な学びをしていく中で～

<学力向上のために>

- 「なぜ、どうして、やってみよう」と感じる学習問題、「なるほど、わかった」と感じる学習展開
- 本気で考え、伝え合い、聴き合い、お互いが学び合い、それをいかしていく授業
- 一人一台端末の積極的利活用
(授業や家庭学習での端末の活用の工夫)

<授業改善に向けてのアプローチ> すべての子どもの学びの充実の取組

- わくわくし、明日の授業につながる教材研究・研修の充実
(**基礎学力向上**・特別支援教育・人権同和教育・学級づくり・体育研修等)
- 「考える、伝える」ことでの思考を整理し、**対話・協働を大切に**位置付けた学習活動
- 授業力向上のための校内外公開授業 ○学年経営の充実(工夫した学習形態)

学校・家庭・地域でともに育てる本原小の子ども

< 学校 >

- 授業力向上・授業改善の推進
- 心の教育、人権同和教育の推進
- 体づくり、運動、遊びの推進
- ホームページや学校・学年・学級通信の情報発信
- 働き方改革、業務改善の推進と子どもと向き合う時間の確保

< 家庭 >

- OPTA 活動での支援・連携
- 学校とPTAの連携事業
(PTA作業、資源物回収、防災教室等)
- 学校との対話の充実(家庭訪問、学級懇談、個別懇談、支援会議、相談等)
- 学校評価の実施と報告
- 家庭学習・読書の推進

< 地域 >

- 登下校時の見守り(原っ子見守り隊)
- 地域の方による学習支援ボランティア
- 地域学習コーディネート、地域学習推進(生活科、総合、歴史、地学、社会見学等)
- コミュニティールームの双方向の連携
- 地域の方との交流(福祉、幼稚園等)
- 公民館活動、地域活動への協力・連携